

授業科目名	教育学実践演習
科目番号	CB11151
単位数	1.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	通年 随時
担当教員	教育学類全教員, 教育学類長
授業概要	教育実践に関する演習を通して, 教育事象の総合的な理解を図るとともに, 教育研究の基礎を学ぶ。卒業研究指導につながる, 教員と学生の指導関係を構築する。
備考	教育学類生に限る 実務経験教員 対面 必修科目
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学における総合的思考力、教育学的実践力、教育学に関する先導的発信力
授業の到達目標（学修成果）	教育実践に関する演習を通して, 教育事象の総合的な理解を図るとともに, 教育研究の基礎を学ぶ。卒業研究指導につながる, 教員と学生の指導関係を構築する。
授業計画	卒業研究の作成に向けて、研究テーマと方法などに関して担当教員の指導を受ける。 第1回 オリエンテーション 第2回 関心のある研究テーマの発表 第3回 先行研究の展望 第4回 研究課題の設定 第5回 研究方法の設定 第6回 卒業研究に向けて 第7回 調査・文献研究の計画の立案と実施 第8回 調査・文献研究の計画の立案と実施 第9回 概念の検討と理論的・政策的背景の検討 第10回 全体のまとめと今後の方針
履修条件	
成績評価方法	毎回の小レポート：80% 学年末のレポート：20%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	予習：関連する概念定義の検討 復習：関連する研究動向の検討
教材・参考文献・配付資料等	各担当教員が指示します。
オフィスアワー等（連絡先含む）	各担当教員にメールで事前予約し、個別に相談してください。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	教育学類生に限る（標準履修学年：3年）
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	研究目的、研究課題、研究方法

授業科目名	卒業研究
科目番号	CB21918
単位数	6.0 単位
標準履修年次	4 年次
時間割	通年 随時
担当教員	教育学類全教員, 教育学類長
授業概要	年2回の卒業研究指導会（構想発表会と中間発表会）で発表し、そこでの指導を踏まえて、4年間の学習の成果を「卒業論文」としてまとめる。
備考	教育学類生に限る 実務経験教員 対面 必修科目
授業方法	卒業論文・卒業研究等
学位プログラム・コンピテンスとの関係	心身の健康と人間性・倫理性、協働性・主体性・自律性、教育学における総合的思考力、教育学的実践力、教育学に関する先導的発信力
授業の到達目標（学修成果）	教育学に関連する事項を卒業研究のテーマとして掲げ、指導教員の指導の下で、研究計画の立て方、各種データの取得方法やその結果分析、さらには、卒業論文の具体的な執筆方法等に関する知識及び技能を修得する。
授業計画	卒業研究に関わる日程は、以下の通りである。 この他に、年間を通じて個別またはゼミ指導を受けること。 第1回 ・4月:卒業論文仮題目の提出 第2回 ・5月:卒業研究指導会1(構想発表) 第3回 ・10月:卒業研究指導会2(中間発表) 第4回 ・12月:卒業論文の提出 第5回 ・1月:卒業研究審査会
履修条件	前年度に「教育学実践演習」を修得している、教育学類生に限る。
成績評価方法	提出された卒業論文に関して、1月に実施される「卒業論文審査会」において査読及び口述試験を行い、卒業論文の内容及び質疑応答への対応などから評価する（卒業論文審査会における評価：100％）。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	年間を通じて指導教員と密接に連絡を取りながら、計画的に進めること。 概念の定義、先行研究の検討、調査、調査結果の分析、文献研究、論文の執筆を行う。
教材・参考文献・配付資料等	指導教員から適宜紹介する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	